

今年度の公募実証

令和元年12月19日
環境省

平成31年度除去土壌等の減容化等技術実証事業 選定テーマ一覧

事業分野	実証テーマ	機関名	技術実証フィールドを利用
除去土壌等の減容・再生利用等技術	膨潤抑制剤添加処理により除去土壌の再利用を効率化する技術	(株)奥村組	○
	除去土壌中の放射性Cs含有粘土の分離性向上を目指した物理的解泥技術の実証	鹿島建設(株)	○
	ばいじん等からのCs分離回収とその安定化技術の実証	日立造船(株)	○
	汚染土壌分級物から回収されたCsの高減容・安定固定化	東京工業大学	
	最終処分に向けた高圧脱水ブロックによる焼却灰の減容化と放射性セシウムの安定化	九州大学	
中間貯蔵施設事業等に対する理解醸成	次世代を担う人材への除去土壌等の管理・減容化・再生利用等の理解醸成	(公財)原子力安全研究協会	
	除去土壌の再生利用等に関わる理解醸成のための課題解決型アプローチの実践Ⅱ	福島工業高等専門学校	

中間貯蔵施設技術実証フィールドについて

除去土壌等の処理、減容・再生利用及び県外最終処分を効果的に進めていくため、中間貯蔵施設区域内で貯蔵されている除去土壌等を用いて、これらに関する実用的、実務的な技術の開発を行う技術実証フィールドを大熊町に整備するとともに部分供用を開始。また、双葉町においても技術実証試験を検討中。

○工事状況及びスケジュール

- ・ 2019年6月から敷地内の造成工事等を開始。
- ・ 2019年12月末に技術実証フィールド完成予定（先行して9月から一部のヤードの供用開始）。



ドローンによる技術実証フィールド全景（11月22日時点）



技術実証フィールドの主な施設

実証ヤード	実証試験を実施するための4つのヤードを整備（約1,600㎡/ヤード）
資材置場	試験資材の一時置場
分析棟	放射能濃度分析、土質分析、化学分析等を実施
管理棟	技術実証フィールド管理のための事務室等を設置

- 技術実証フィールドは、公募技術実証事業の採択者や、JESCO（共同で研究を実施する者を含む。）が利用。
- 技術実証フィールド利用者は、実証ヤードを利用した実証試験の実施や、分析棟を利用した試料の分析（分析はJESCOの委託業者が実施）が可能。また、実証試験に必要な試験資材、電気、水の提供を受けることができる。